

論文提出による博士（医学）の学位申請資格の審査に関する内規

（目的）

第1条 本内規は、医学研究科教務委員会規程第2条第4号に規定する医学研究科教務委員会（以下「教務委員会」という。）が行う資格審査に関し必要な事項を定める。

（審査項目）

第2条 審査項目は、次のとおりとする。

- （1）論文提出による博士（医学）の学位申請者資格等に関する取扱要領（以下「要領」という。）第4条第1項から第3項までに規定する医学研究歴
- （2）その他要領に規定する学位申請資格に関する事項

（審査委員）

第3条 資格審査対象者の指導教授は、教務委員会の審査に加わることができない。

2 教務委員会は、必要に応じて申請者の指導教授に出席を求め、意見を聞くことができるものとする。

（提出書類）

第4条 大学院学則第18条第2項に基づき学位を申請する者には、学位規程第14条第1項に規定する書類のほか、次の各号に掲げる書類を医学研究科長に提出させるものとする。

- （1）学歴証明書（医学研究歴の対象となる学歴を有する者に限る。）
- （2）単位修得証明書（医学研究歴の対象となる学歴を有する者に限る。）
- （3）医師又は歯科医師の免許証の写し（申請者が医師又は歯科医師の場合に限る。）
- （4）所属機関が発行する在職証明書
- （5）学位申請時までの研究業績一覧（様式第1号）
- （6）研究指導者の推薦状
- （7）その他教務委員会が必要と認める書類

2 要領第4条第1項第4号の海外研究歴を有する者には、前項の書類のほか次に掲げる書類を提出させるものとする。

- （1）外国籍者で（財）日中医学協会等の公的機関から助成金を受けている場合は、その証明書
- （2）日本における医学研究歴を併せて有する者の場合は、その研究歴に対応する期間の出入国を明らかにする書類（ビザの写し等）

（審査結果）

第5条 教務委員会は、申請者から提出された書類に基づき資格審査を行い、審査結果を速やかに医学研究科委員会に報告するものとする。

2 医学研究科委員会は、教務委員会の報告に基づき、申請者から提出された資格を審議する。

（内規の改廃）

第6条 この内規の改廃は、教務委員会の議を経て医学研究科委員会が行う。

附 則

この内規は、平成14年12月19日から施行する。

附 則

この内規は、平成19年7月26日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。（提出書類の変更等）

研究業績一覧

氏 名	

※注意事項

- 1) 記載にあたっては、別紙の研究業績一覧記載要領に従って記載すること。
- 2) 記載しきれない場合は、次葉に記載すること。

研究業績一覧記載要領

記載にあたっての注意事項

- 1) A4版に片面印刷とし、ページ下中央にページ番号を付すこと。
- 2) 文字の大きさは10.5ポイントとし、和文はMS明朝体、欧文はCenturyを使用すること。
- 3) 個別の注意事項
 - ① 各ページとも、右下に氏名を記載すること。
 - ② 業績は、Ⅰ著書、Ⅱ総説、Ⅲ原著、Ⅳ症例報告、Ⅴ学会発表、Ⅵその他の項目に分けて記載すること。
 - ③ 学会発表にあつては、さらに特別講演、シンポジウム、一般発表等に分けて記載すること。
 - ④ 学会発表にあつては、さらに英文と和文、国際学会と国内学会に分け、発表年代順に一連の番号を付して記載すること。
 - ⑤ in pressを含み、投稿中、準備中は除くこと。
 - ⑥ 記載方法はバンクーバースタイルとするが、著者が複数の場合は全員の氏名を記載し、本人に下線を引くこと。
 - ⑦ 発表雑誌名は医学中央雑誌収載目録、又はNLM(米国国立医学図書館)方式で省略すること。(NLM方式はPubMedのJournals Databaseで検索可)
 - ⑧ 各項目とも年代の新しい順に記載すること。

記載例

- 著書 (英) Ringsven MK, Bond D. Gerontology and leadership skills for nurses. 2nd ed. Albany(NY): Delmar Publishers; 1996.
(和) 辻陽雄. 基本腰椎外科手術書. 東京: 南江堂; 1988

単行本の中の章

- (英) Phillips SJ, Whisnant JP. Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management. 2nd ed. New York: Raven Press; 1995. p. 465-78.
(和) 山室隆夫. 股関節の血管系の解剖とその発育. 伊藤鐵夫編. 股関節外科学. 第4版. 京都: 金芳堂; 1976:p. 39-59.

原著

- (英) Vega KJ, Pina I, Krevsky B. Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreato-biliary disease. Ann Intern Med 1996;124(11): 980-3.
(和) 浅井富明, 牧山友三郎, 南場宏通. 習慣性肩関節脱臼の治療経験. 中部整災誌. 1979;22:1192-1194.

学会発表

- (英) Kimura J, Shibasaki H. Recent advances in clinical neurophysiology. 10th International Congress of EMG and Clinical Neuro-physiology; 1995 ;Kyoto, Japan.
(和) 遠山稿二郎. 神経組織の再生—グリア細胞の役割を考える—. 第13回東北実験動物研究会; 2002;盛岡.